

平成28年度第2回石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議議事録

■日 時 平成28年10月11日（火） 18時00分～21時30分

■会 場 庁舎4階 庁議室

■出席者 別紙のとおり

■会議内容

1 会議開催について

委員数19名に対して12名が出席しており会議は成立。（1名遅れて出席）

2 開会のあいさつ（後藤会長）

3 まち・ひと・しごと創生総合戦略KPIの評価検証について（説明：復興政策課）

基本目標毎に一括で説明し、質疑応答を繰り返し実施した。

【基本目標1】

（委員）「NO1の新市街地整備事業完成率」について、完成率が緩やかに上がるのは何かあるのか。

（区画整理第1課長）平成28年度中に新蛇田地区の供給が終了する予定である。残るのは新蛇田南地区であるが、既存の地権者がおり、その周辺の整備になる。供給する数も少ないことから、このような完成率となる予定である。

（委員）「NO2の防災集団移転促進事業完成率」について、平成29年度内に宅地が引渡し可能となっているが、今後のスケジュールをお願いしたい。

（防災集団移転推進課長）29年度内にすべて完成予定である。

（副会長）「NO1～5の施策で住宅整備がされていると思うが、現在の仮設住宅の入居の状況と作っている数とどういう関係であるのか。仮設に住んでいる方と復興公営住宅の数の整合性が取れているのか。

（復興住宅課長補佐）公営住宅は仮設に入居している方が全員入れるものではなく、住宅が滅失して自立再建できない方、低所得の方が対象となっている。計画としては、公営住宅として4,500戸を予定している。

（委員）公園や運動公園だった所の仮設住宅では、空きが出てきている。子どもたちが遊ぶことができる環境を作る意味で、近くの仮設住宅に移動していただくことはできないものか。

（生活再建支援課長）仮設住宅では、平均4割を切る入居となっているところもある。そして、今年度末には仮設住宅を解消する団地もでてくる予定である。震災から7年目まで一律延長で仮設入居が認められており、現在133団地を集約拠点団地24箇所にとめる予定である。

（委員）復興公営住宅の入居率を参考までに教えてほしい。

（復興住宅課長補佐）市街地は、完成戸数2501戸に対して入居戸数2433戸となっており、入居率97%となっている。半島部は、完成戸数158戸に対して入居戸数156戸となっている。

（委員）「NO9の中心市街地歩行者等通行者数」について、計測の時間帯及び区域を教えてください。

(商工課長) 調査については、平日、休日共にしており、時間帯は昼間の時間帯であり、調査地点は12地点(旧市役所通り、アイトピア大町等)となる。

(委員) 一人の人が旧市役所前から駅まで歩いてきて、1人、2人と数えられているのか確認したかった。また、夜間の方が、人通りが多いところもあることから、夜間調査も行って良いのではないかという提案である。

(商工課長) 観光交流施設やこどもセンターの整備等の中での交通量を指標にしたもので夜間は想定していなかった。委員の意見については、今後検討していきたいと思う。

(委員) 「NO8の施設(萬画館及び観光交流施設)利用者数」について、生鮮マーケットと公共施設の予想人数(100万人)の根拠は何かあるのか。

(商工課長) 100万人の根拠は、計画段階で商社動向調査や商圏の統計等を組み合わせると100万になることから設定しているが、一つの施設での達成は難しいことから、萬画館や復興祈念公園等と合わせて、目標達成に向けた方策を考えていきたい。

(会長) コンサルの数字なので信じてよいと思う。

(委員) 「NO10の半島部における拠点エリアの工事着手率」について、「防潮堤を干渉する排水路工事」とはどういうものか。

(半島拠点整備室長) 雄勝と鮎川に拠点整備する場所に防潮堤を作り、その下に、海に沢の水を放流する工事が重なるところを県にお願いしてスムーズに進めましょうという意味である。

(委員) 県の説明で言う「水門」で、防潮堤の下に水門ができることでよろしいか。(半島拠点整備室長) はい。小さな水門、ゲートとなる。

(委員) 空き家の利活用については、良い流れができていていると思う。居住者は家賃を空き家所有者へ支払いするのか。

(復興政策課長) NPO団体に補助金を出している。PR募集、受け入れ体制の整備、入居後の相談事業とハードの空き家の改修に係るものである。あくまで大家と入居者との関係であるが、可能な限り安価な家賃とするようお願いしている。

(副会長) 市補助は5割で、残りの5割は誰が負担するのか。

(復興政策課長) 1件当たり400万上限はあるが、改修にかかる費用の残りの半分は大家さんの負担となる。

(委員) 空き家の活用については、相談窓口はあるのか。ここ、10数年で3件のうち1件が空き家になるとの報道もある。

(復興政策課長) 空き家全体の把握がまだできていない。実態調査をした上で、空き家バンクのような貸したい人と借りたい人とのマッチングを行う仕組み作りが必要である。

(委員) 「NO12の津波防災拠点整備事業完成率」について、防災の拠点として、浸水した地域への対策として整備していることはどんなことか。

(石巻駅周辺整備プロジェクト推進室長補佐) 都市計画法に基づく事業の一つであり、公共施設を駅周辺に集積し防災性を高め、都市の核拠点をつくり、歩いて暮らせるまちづくりを進めることとしている。この中で、公共施設を結ぶ歩行者デッキを整備する計画としている。

【基本目標2】

(委員) 経済センサスとは、どういう調査なのか。また、どのようなKPIに変更するものであるのか。

(復興政策課) 4年に一度、活動調査、基礎調査が隔年に行われるものであり、事業者数や産出額等を調査するものである。今回、毎年度の実績を計ることが難しいことから変更を予定するものである。本市においては、肉用牛に対する助成を手厚く行っていることから、肉用牛産出額として、KPIを変更したい。

(委員) 個人経営者を除くのはなぜか。

(復興政策課) 事業所単位の調査となっている。

(会長) 肉用牛という分かりやすい指標に変更したいとなっている。これに補足するような提案が会った場合は入れていただくことはできるのか。

(復興政策課長) 関係部署と協議し、次回の会議でご判断いただきたいと考える。

(委員) 「NO30 道の駅来場者数」について、道の駅の利用が順調に伸びている一方で、コンビニとふたごの湯の利用者が伸び悩んでいるようであるが、何か要因があるのか、また、具体的な解決策があるのか。

(河北総合支所地域振興課長) 震災の年に122万人になったが、その後105万人で横ばいとなっている。アイデアを出しながら、接客サービス等の改善を行っている。

(委員) 農業と漁業がメインで、林業(森林の活用)を網羅することができないか。

(農林課長) 林業は、林業家がほとんどいない。外国産が入ってきて、採算割れ等から業として成り立っていない。高付加価値化が難しいところである。

(委員) 今後、森林の活用をしようとする人が出てきた時には、ご対応いただきたい。

(農林課) 近年、国産材の活用も見直されており、マッチングできれば市産の活用も見えてくるのではないかと考える。

(委員) 「NO22の創業相談件数」について、どのような業種の方が創業を希望し、それに対して支援されているか。その後はどうフォローしているのか。

(産業推進課長補佐) 相談内容の業種については、サービス業が多く、一部、卸売業もある。創業後のフォローについて、平成27年度に創業している事業者については、今年度からフォローアップ調査を行い、事業計画通りに進んでいるか、雇用体制はどうなっているか等を行い、関係団体と情報を共有するようにしている。

【基本目標3】

(副会長) 「NO34のコミュニティ作り支援補助金申請件数」について、復興住宅への入居者と従来からの住人(町内会)との関係について、どのように考えているのか。また、「NO38のシルバー人材センター年間延べ就業人員」について、受注金額、件数が多いにもかかわらず、市から補助金が出ているのは、どのような理由があるのか。さらに、「NO42の陶芸丸寿かんけい丸利用者数」について、リポーンアート後の活用部分についてどのように考えているのか。

(地域協働課長) 復興住宅入居者と町内会との関係は、新蛇田地区は規模があまりにも大きいことから、新たに町内会を立上げするサポートを行っている。そのほかの復興住宅については、既存の町内会に編入するよう各町内会にお願いしている。

(商工課長) シルバー人材センターの補助金については、人件費等の管理費への補助となっている。

(生涯学習課長補佐) かんけい丸は、平成 32 年度完成予定の複合文化施設のサテライト施設として使いたいと考えている。また、なつかしい昭和の暮らしの道具等も展示をし、一階部分は、NPO等による活用を検討している。

(委員)「NO35、36 の地域包括ケアの推進関係」について、「石巻市地域包括ケアシステム推進計画基本構想において・・・」とあるが、この「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と同じ考え方で進めていくこととしてよろしいのか。

(包括ケア推進室長) 同じ方針で進めていきたいと考えている。

(委員)「NO37 の研修会延べ参加者数」について、参加者が多いのは、非常に成果がでている。今後がんばってやってほしい。

(委員)「NO48 の市内高校生が本市に住み続けたいと思う割合」について、70%が石巻市に住みたいとしているが、このアンケートの内容はどのようなものであったのか。また、「NO50 のふるさと納税の寄附件数」について、特産品選定委員のメンバーはどのような方々で構成されているのか。

(地域振興課長) 特産品選定委員会は 3 回開催しており、六次化産業・地産地消推進センター、県東部地方振興事務所、商工会議所、石巻かほく、日日新聞、ラジオ石巻、応援派遣職員の方等となっており、もらった人が喜んでもらえるように選定している。

(教育総務課長補佐) 石巻に住みたい、就職時には石巻に戻りたい、いつかは戻りたい、を含め 64.8%となっている。

(委員) なぜ、住みたいのかの理由はあるのか。

(復興政策課長) 基礎データを作成するために市内の高校、大学生を対象にアンケートをしたが、なぜ、住みたいかという項目は設けていない。

(委員) 今後実施する際には、「なぜ、住みたいのか」を項目に入れて、ぜひ毎年アンケートをとってほしい。

(復興政策課長) 今後検討したい。

【基本目標 4】

(委員)「NO57 の保育施設待機児童数」について、実情は分かるが、早め早めに手を打つことが市の施策であることから、「入所希望者が増えていることにより、待機児童が増加している」という表現はよくないのではないか。

(子ども保育課長補佐) 保育所の整備はしているが、予想より入所希望が多く、このような表現となってしまった。今後、検証(訂正)させていただきたい。

(委員)「NO52 の女性人材リスト登録者数」について、このリストに登録すると何か良いことがあるのか。また、「NO59、60 の未来を生きる力の醸成」について、実際に不登校児は減っているのか。

(地域協働課長) 市の審議会等の委員を選出するときに活用している。これは、自薦他薦問わず可能であり、各種会議において意見を言える機会が増える。

(学校教育課) 不登校の子供は 24、25、26 年度と減少傾向にあったが、27 年度は微増している。

(委員)「NO57の保育施設待機児童数」について、実績62人とあるが、市に要望(申請)があった人数か。

(子ども保育課長補佐)申請があり、国の待機児童の定義に基づき整理した結果となっている。

(委員)祖父母がいるからとか、専業主婦だから市に申請しても断られるから申請しない方もたくさんいる。実際は三倍くらい待機児童がいると思ってほしい。

(子ども保育課長補佐)求職活動を休止したり、育児休業中だったりする方も結構いると思われる。今年度、それを見越した整備数を予定している。

(委員)「NO53の市民意識調査における育児や家事の役割」について、現状を踏まえての数字(50%以上)なのか。また、「NO54の子育てサポート企業認定数」について、お父さん方は仕事があり、ライフスタイルを変えられないとの意見が多いことから、企業の意識が変わることがすごく重要である。H28の目標値が入っていなかったが。

(地域協働課長)50%の数値設定については、このくらいが適切ではないかとして、設定している。また、「NO54の子育てサポート企業認定数」については、企業との意見交換を行う予定であり、認定できる企業がないか把握していきたい。

【全体的な意見】

(委員)「18と19の医療介護分野における人材育成」、「41と42生涯学習関係」、「47と48大学、高校の地元定着関係」については、特に密接に関連していることから、キーポイントを押さえながら行うことで、一気に解決する可能性がある。

(復興政策課長)KPIは関連するものもあることから、相乗効果を得られるようにしていきたい。

.....

4 その他

(説明:復興政策課)

重要業績評価指標(KPI)変更案一覧について(資料4)

今後のスケジュールについて

5 閉会のあいさつ(副会長)

石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員名簿

(平成28年6月29日現在)

No.	氏 名	所 属	備 考
1	安 住 栄 一 <small>あ ずみ えい いち</small>	牡鹿地区住民代表	出席
2	阿 部 紀代子 <small>あ べ きよこ</small>	コンパクトシティいしのまき・街なか 創生協議会	副会長 出席
3	阿 部 都 <small>あ べ みやこ</small>	いしのまき農業協同組合	欠席
4	荒 木 裕 美 <small>あ ら き ひろ み</small>	特定非営利活動法人ベビースマイル石 巻	出席
5	大 浪 茂 <small>お お なみ しげる</small>	河北地区住民代表	出席
6	小野寺 芳 一 <small>お の で ら よし かず</small>	七十七銀行石巻支店 (代理 木村様)	出席
7	木 村 美保子 <small>き む ら み ほ こ</small>	いしのまきNPOセンター	出席
8	後 藤 宗 徳 <small>ご とう むね のり</small>	石巻観光協会	会長 出席
9	西 條 拓 也 <small>さい じょう たく や</small>	いしのまき農業協同組合	出席
10	佐 藤 清 子 <small>さ とう せい こ</small>	河南地区住民代表	出席
11	佐 藤 尚 美 <small>さ とう なお み</small>	北上地区住民代表	欠席
12	品 野 光一郎 <small>しな の こういちろう</small>	宮城県漁業協同組合	欠席
13	庄 子 真 岐 <small>しょう じ ま き</small>	石巻専修大学	欠席
14	大 黒 雅 弘 <small>だい こく まさ ひろ</small>	日本労働組合総連合会宮城県連合会石 巻地域協議会	欠席
15	高 橋 真由美 <small>たか ほう ま ゆ み</small>	雄勝地区住民代表	出席
16	中 川 尚 仙 <small>なか がわ なお のり</small>	石巻商工会議所	出席
17	永 澤 貞 代 <small>なが さわ さだ よ</small>	桃生地区住民代表	欠席
18	芳 賀 信 幸 <small>は が のぶ ゆき</small>	石巻市地域包括ケア推進協議会	出席
19	三 浦 と 基 恵 <small>み うら と き え</small>	石巻市地域婦人団体連絡協議会	出席

(氏名の五十音順、敬称略)